

No	提 案 名	提案団体名	
		代表者氏名	所 属
8	「夏フェス」による宇都宮の活性化	作新学院大学 那須野ゼミ 3 年生	
		目崎 晃也	作詞学院大学 経営学部
		指導教官 氏 名	那須野 公人

1 提案の要旨

近年「夏フェス」、すなわち夏の音楽フェスティバルが多く、多くの若者を集めている。茨城県ひたちなか市で開催される“ROCK IN JAPAN FESTIVAL”は、日本一の「夏フェス」ともいわれ、25 万人もの観客を動員している。また県内でも、真岡市で毎年 RADIO BERRY（FM 栃木）主催の「ベリテンライブ」が開催され、ひたちなか市には及ばないが、1 万人以上の若者を集めている。

そこで、「夏フェス」によって宇都宮に対する若者の魅力を高め、活性化できないかどうか検討してみた。

2 提案の目標

ひたちなか市の“ROCK IN JAPAN FESTIVAL”による経済効果は、3 億円以上ともいわれる。また、ひたちなか市の市長は「ロックフェスが若い人に注目してもらえることはひたちなか市にとっても大きい。若者にそのうち住んでもらうことも考えている。」とも語っている。音楽によって宇都宮の魅力を高め、若者の定着・U ターン、さらには I ターンにまでつなげばいいことはない。

そこで、具体的に次のような調査分析をふまえて、宇都宮での「夏フェス」を提案することにした。

< 調査・分析の手順 >

調査分析にあたり、次のような計画を立てた。

- (1) アンケートによって、「夏フェス」や、同じく宇都宮における音楽の祭典である“MIYA JAZZ IN “（ミヤ・ジャズ・イン）等に対する若者の考え方を調査する。
- (2) 「ベリテンライブ」をはじめ、近県の「夏フェス」の実態を各種資料により調査する。
- (3) RADIO BERRY に「ベリテンライブ」についての聞き取り調査を行う。
- (4) 以上の結果を整理して、宇都宮独自の「夏フェス」を具体的に提案する。

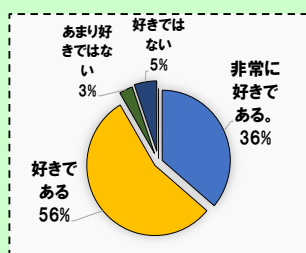
3 現状の分析と課題

(1) 「夏フェス」に関するアンケート結果

本学経営学部の学生を対象に、アンケート調査を実施し、「夏フェス」開催の効果と可能性を確認した。なお、回答者数はちょうど 100 名であった。その結果を次に示すことにしたい。

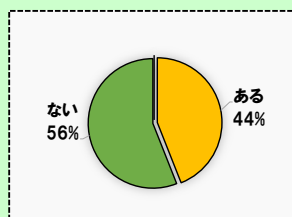
まず問 1 で「あなたは音楽が好きですか」と聞いたところ、第 1 位は「好きである」の 56%、第 2 位は「非常に好きである」の 36%、第 3 位は「好きではない」の 5%、第 4 位は「あまり好きではない」の 3%という結果となった。過半数が音楽を好きであると回答

問1. 音楽が好きですか



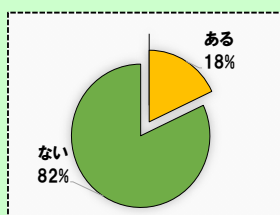
どちらかという
好き → 92%

問2. コン서트やライブに行っ たことがありますか



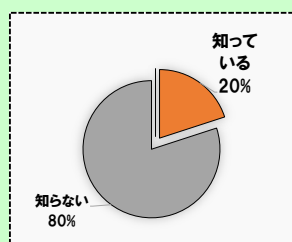
行ったことがある
→ 44%

問3. 夏の野外コンサート(夏フェス) に行ったことがありますか



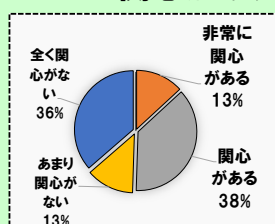
行ったことがある
→ 18%

問4. 「ベリテンライブ」を知っていますか



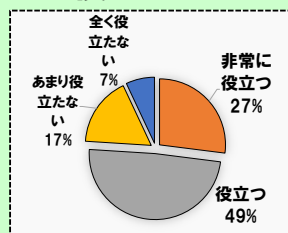
知っている
→ 20%

問5. 夏の野外コンサート(夏フェス)に 関心がありますか



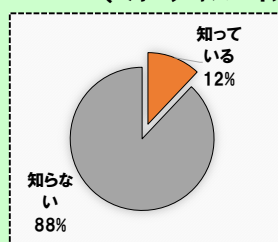
どちらかという
関心がある
→ 51%

問6. 夏フェスは、宇都宮の活性化に 役立つと思いますか



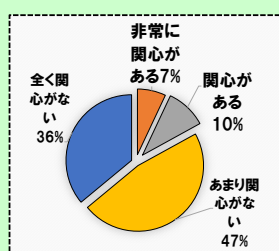
どちらかという
役立つ → 76%

問7. “MIYA JAZZ INN” (ミヤ・ジャズ・イン)を知っていますか



知っている
→ 12%

問8. ジャズに関心がありますか



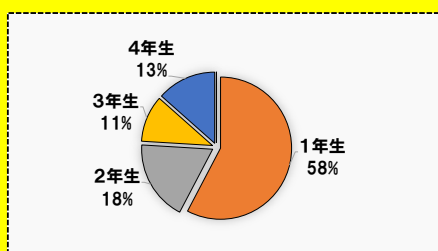
どちらかという
関心がある
→ 17%

していることがわかる。

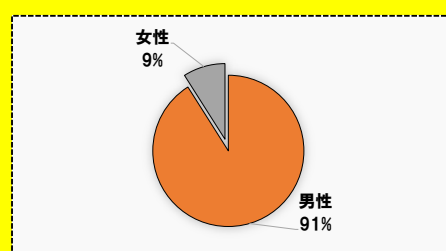
問2では「コンサートやライブに行ったことがありますか」と聞いたところ、第1位は「行ったことがない」の56%、第2位は「行ったことがある」の44%という結果となり、約10人のうち4人が「行ったことがある」ということがわかった。なお、問9に示されているように、回答者に1年生が多かったことから、学年が上がるとコンサートやライブの経験者数の割合は、より高いのではないかと推測される。

問3では「夏の野外コンサート(夏フェス)に行ったことがありますか」と聞いたとこ

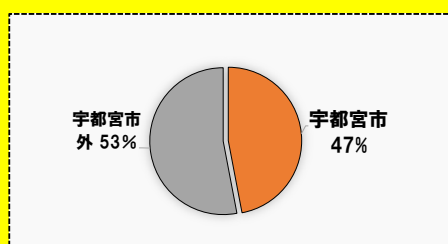
問9. あなたの学年をお答え下さい



問10. あなたの性別をお答え下さい



問11. あなたの現住所をお答え下さい



ろ、第1位は「行ったことがない」の82%、第2位は「行ったことがある」の18%、という結果となった。「行ったことがない」が8割近いことが特徴的であることがわかった。

問4では『ベリテンライブ』を知っていますか」と聞いたところ、「知らない」が80%で、「知っている」と答えた人は20%であった。このように、ベリテンライブを知らない人が8割を占めていることがわかった。

問5では「夏の野外コンサート『夏フェス』に関心がありますか」と聞いたところ、第1位は「関心がある」の38%、第2位は「全く関心がない」の36%、第3位は「非常に関心がある」と「あまり関心がない」の13%であった。「関心がある人」と「ない人」とが、約半々に分かれていることがわかった。

問6では『夏フェス』開催は、宇都宮の活性化に役立つと思いますか」と聞いたところ、第1位は「役立つ」の49%、第2位は「非常に役立つ」の27%、第3位は「あまり役立たない」の17%、第4位は「全く役立たない」の7%であった。8割近い人が、夏フェスは宇都宮の活性化に役立つという回答結果となった。

問7では「あなたは“MIYA JAZZ INN”（ミヤ・ジャズ・イン）を知っていますか？」と聞いたところ、第1位は「知らない」の88%、第2位は「知っている」の12%という結果となった。“MIYA JAZZ INN”を知っている人が、若者では極端に少ないことがわかった。

問8では「あなたはジャズに関心がありますか」と聞いたところ、第1位は「あまり関心がない」の47%、第2位は「全く関心がない」の36%、第3位は「関心がある」の10%、第4位は「非常に関心がある」の7%という結果となった。グラフのように、関心がない人がほとんどを占めており、関心がある人があまりにも少ないことがわかった。

問9～10はアンケート回答者の基本情報である。学年、性別、現住所（市内在住か市外か）を聞いている。結果は、上記グラフのとおりである。

(2) CD等音楽ソフト販売の低下とコンサート、「夏フェス」の増加

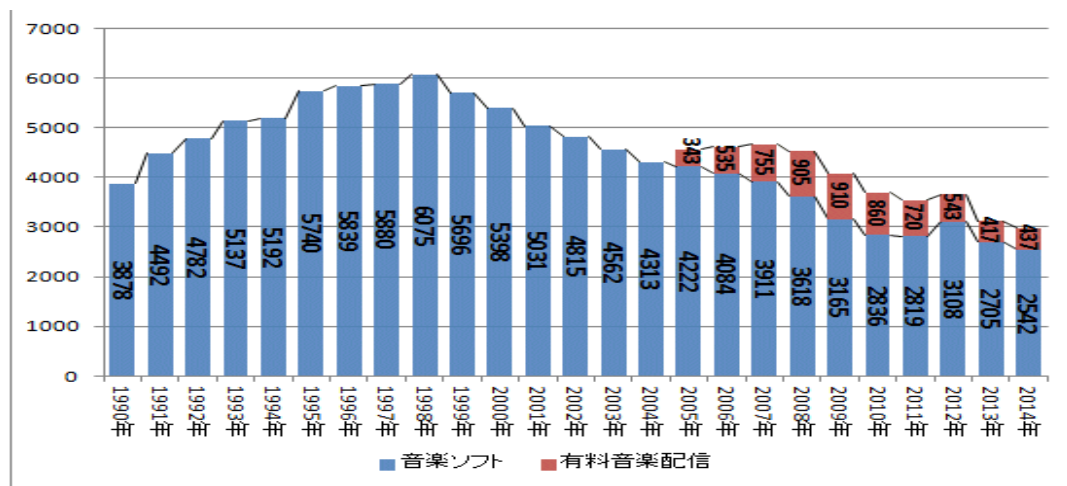
1998年をピークに、CD等音楽ソフトの販売額が徐々に低下してきている。iPod出現以

来、音楽を聴く際 CD を購入するのではなく、ダウンロードをして聞くケースも多くなっている。しかしそれでも、音楽ソフト全体の売上額は年々減少しているのが実態である（図 1 参照）。これは、少子化による影響の他、スマートフォンの普及によって、音楽アプリや YouTube 等を通じて無料で音楽を楽しむ、新たな楽しみ方が出現していることが背景にあるものと思われる。

このような状況の下で、コンサートに CD 販売のきっかけと考えていたアーティストや音楽事務所が、今やコンサートそのものを中心的な収入源と考えるようになってきているといわれる。そのことが、図 2 の「ライブ公演数の増加」図 3 の「ライブ入場者数の増加」に現れてきているものと思われる。

音楽ソフトの販売額の減少は、必ずしも人々の音楽離れを示すものではない。インターネットを通じたいわば「バーチャル体験」が増える中で、むしろ「リアル体験」としてのコンサートの価値が高まり、また SNS を通じたコンサートの感動の伝達・拡散が、コンサートに多くの人々を惹きつけているものと考えられる。

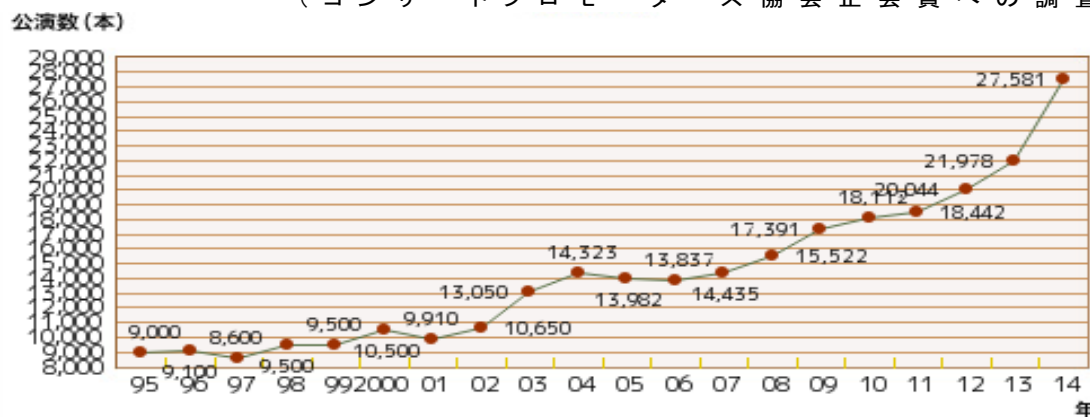
図 1 音楽ソフト・有料音楽配信の売上推移(億円)



(出所) Garbage NEWS.com <http://www.garbagenews.net/archives/2042380.html>
(2015 年 11 月 20 日)

図 2 ライブ公演数の増加

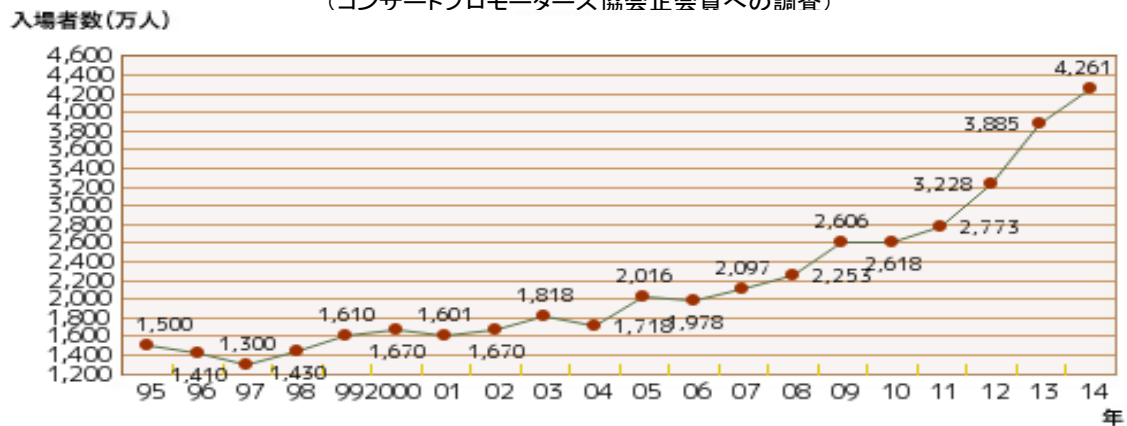
(コンサートプロモーターズ協会正会員への調査)



(出所) コンサートプロモーターズ協会 <http://www.japc.or.jp/>
(2015 年 11 月 20 日)

図3 ライブ入場者数の増加

(コンサートプロモーターズ協会正会員への調査)



(出所)コンサートプロモーターズ協会ウェブページ。 <http://www.acpc.or.jp/marketing/transition/>
(2015年11月20日)

コンサートの中でも、「夏フェス」の増加とその経済効果に、『株式経済新聞』さえも注目している。2013年8月7日付の同紙では、「夏フェス真っ盛り、無視できない経済効果に注目」という記事を掲載し、その中で次のように述べている。「主な『夏フェス』だけでも観客動員数は合計で200万人を超えるとされ、周辺の宿泊施設や飲食店、各種の小売店などへの経済波及効果が見込まれる。……「フジロック」では開催3日間で経済波及効果は30億円に達するといわれていることから、自治体などによる「夏フェス」“招致”も盛ん。さらなる市場拡大が期待できることから、関連銘柄のビジネスチャンス拡大が期待できる」。

「夏フェス」の魅力としては、夏の解放感、野外の解放感、一種の祭りとしての盛り上がり、音楽をきっかけとした体験旅行、そしてそれに伴う観光の楽しみ等があげられる。生演奏の魅力に加え、これらのことが多くの若者を惹きつけている要因であると考えられる。

図4 夏フェスのイメージ



(出所) FASHION PRESS ウェブページ。
<http://www.fashion-press.net/news/17330>
(2015年11月20日)

(3) 近隣の「夏フェス」

隣県の茨城県ひたちなか市では、毎年8月に“ROCK IN JAPAN FESTIVAL”が開催されている。これは、日本最大規模の野外ロックフェスティバルである。この夏フェスが開始されたのは、2000年のことであり、すでに15年以上の歴史がある。当時は、日本人アーティストが参加できるロックフェスティバルがなく、日本人アーティストだけを結集したロックフェスをつくろうと、音楽雑誌制作のロッキング・オンが企画して開始された。

当初は、国営ひたちなか海浜公園を会場に、2日間の開催であったが、2001年からは3日間、2014年からは4日間の開催となっている。

“ROCK IN JAPAN FESTIVAL”は、ロックだけでなくポップ系のバンドも数多く出演しており、初心者が参加しやすいフェスとなっている。今年は、最近注目されている女性シンガーソングライターのmiwaや大塚愛、スピッツ等も出演している。そのため、初心者が参加しやすいフェスであるといわれている。

“ROCK IN JAPAN FESTIVAL”には、複数のライブステージがある。すなわち、“GRASS TAGE” “LAKE STAGE” “PARK STAGE” “SOUND OF FOREST” “WING TENT” “Seaside STAGE” “BUZZ STAGE”である。“GRASS TAGE”は、東京ドーム4個分の大草原につくられた4万人収容のステージである。ステージに近いほうから立って観るスタンディングゾーン、シートを敷いて観るシートゾーン、テントやパラソルなどを立てることができるテントゾーンとエリアが分けられている。“LAKE STAGE”は、後ろに湖が広がる約1万人を収容することができるステージである。ステージに近いほうから、円形のスタンディングゾーンと座って観る階段ゾーンがある。“PARK STAGE”は、「パクパクパーク」に隣接する約8000人を収容できるステージであるが、設置されない年もある。“SOUND OF FOREST”は、木々に囲まれた芝生のスタンディングのみのステージであり、約8000人を収容することができる。“WING TENT”は、テント型ライブハウスであり、収容人員は約3000人である。ここでは、若手を中心としたアーティストが出演している。“Seaside STAGE”は海に近いステージで、約2000人を収容することができるが、2013年以降設置されていない。“BUZZ STAGE”は、“GRASS TAGE”の後方にあるテント型ステージで、4500人を収容できる。ここではライブやDJ等多彩なパフォーマンスが行われており、アイドル等も出演している。

なお、2015年は6ステージで運営されたが、これらのステージは同時進行であり、観客はプログラムを見て好きなステージを移動しながら音楽を楽しむことになる。

ただし、最初から多くのステージが設けられていたわけではない。2000年には2日間1ステージから始まり、徐々に開催日数とステージ数が増加していき、2015年には4日間6ステージとなった。それに伴い、観客もこの間7倍以上に増加した（図5、6参照）。

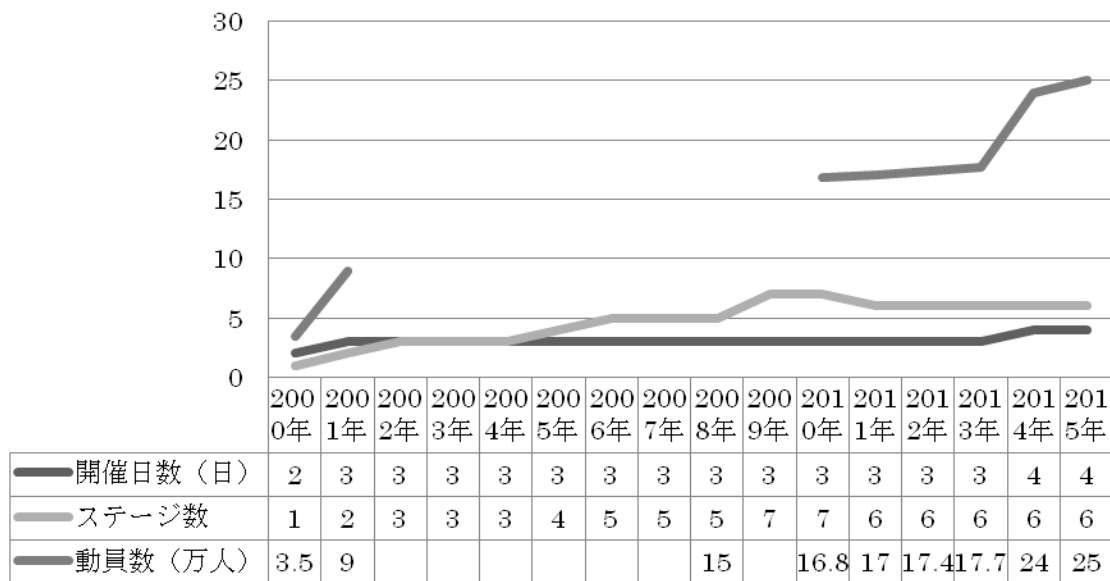
ところで、会場には各ステージの他イベントスペースが設けられており、地元の市民有志による飲食店が設置されている。観客はとれたての魚や野菜、地酒、納豆定食等を、格安の値段で楽しむことができる。なかでも、地元名物の五浦ハムの串焼きが、毎年行列ができるほどの人気となっている。

また2005年には、ロック以外のアーティストを出演させることによって、他のロックフェスとの差別化を図るとともに、2009年には危険行為を行った者を退場させるという規制を設け、危険行為の起こりやすいロックフェスの安全化を図っている。その他、出演者の多様化を推し進め、今や多くのアイドルも出演する親しみやすいフェスとなっている。

なお、“ROCK IN JAPAN FESTIVAL”は、震災があった2011年にも、復興のためにぜひ開催してほしいというひたちなか市の強い要請によって、休むことなく継続して開催された。

“ROCK IN JAPAN FESTIVAL”成功の背景には、地元自治体による積極的な誘致と

図5 ROCK IN JAPAN FESTIVALの発展



(出所)「【RIJF】夏フェス ロックインジャパンフェスの歴史」Ripy ウェブページ
http://ripy-jm.com/news/pickup902_rockinjapanfestival_history.html
 (2015年11月27日)、ナタリーウェブページ
http://natalie.mu/music/news/list/artist_id/1309 (2015年11月27日) 等にもとづき作成。

図6 2001年(左)と2014年(右)の会場全体図の比較



会場全体図

(出所) ロッキング・オン社ウェブページ <http://rijfes.jp/03/2001/map.html>
 (2015年10月27日)
 ロッキング・オン企画制作のフェスティバル・情報サイト
<http://rijfes.jp/2014/areamap/> (2015年10月27日)

連携があるとされる。ひたちなか市は、隣接する東海村の原発事故のあおりを受けて、観光客が減少することになったことから、夏フェスで地域を活性化したいとの思で、積極的な誘致と全面的な協力に取り組んできた。

多くの観客が押し寄せるため、ホテルや旅館だけでは部屋数が足りない。そこで、会場にテントスペースを設け、中華料理店の宴会場を臨時宿泊施設として開放したり、食堂を

開放して素泊まりの施設とする等、地元では多くの配慮をしている。

一方、栃木県にも 2003 年にスタートした「ベリテンライブ」がある。これは真岡市の井の頭公園運動広場において、毎年 RADIO BERRY (FM 栃木) の主催で開催されている。観客動員数は 2012 年には約 12,000 人であった。なお、「ベリテンライブ」は、HEAVEN'S ROCK 宇都宮において、1 週間にわたり前夜祭的なライブを行っている。

4 施策事業の提案

大きな夏フェスは、複数ステージで開催されることが多い。しかし、宇都宮にはそのような屋外の大規模な会場は見当たらない。しかし、夏フェスには都市型夏フェスもあり、その場合には、野球場、サッカー場、大規模な体育館を使用しての開催もみられる。宇都宮の場合参考となるのは、このような都市型フェスであると考えられる。野球場、サッカー場ということになると、注目されるのはグリーンスタジアムや清原球場のある清原地区であろう。ちなみに、清原球場の収容人員は 30,000 人、グリーンスタジアムの収容人員は 15,000 以上となっているが、フィールドも活用すれば、さらに多くの観客を収容することができるものと思われる。

そこで、清原球場において「夏フェス」を開催することを前提に、具体的な計画を提案したい。

なお、現在（11 月 27 日）まだ研究を継続中であり、具体的な提案は 12 月 18 日に開催される発表会において行うことにしたい。

【参考文献等】

- ・丹野裕太 (2007) 「ベリテンライブに見る地域活性化～日本最大のフェス ROCK IN JAPAN と比較して～」
<http://gyosei.mine.utsunomiya-u.ac.jp/since2001koki/yoka12/120710tannoy.htm>
- ・酒井春菜 (2009) 「不況にも負けない！夏フェスの参加者増加傾向を探る」
<http://gyosei.mine.utsunomiya-u.ac.jp/since2001koki/yoka09/090701sakaih.rtf.htm>
- ・NEWS ZERO(2007) 「超人気！夏フェスの理由に迫る！」
http://www1.ntv.co.jp/zero/culture/2007/08/post_94.html
- ・Garbage NEWS (2015) 「止まらぬ凋落、合わせて 3000 億円を切る...音楽 CD・有料音楽配信の売上動向」 <http://www.garbagenews.net/archives/2042380.html>
- ・株式経済新聞 「夏フェス真っ盛り、無視できない経済効果に注目」 8 月 7 日
<http://kabukei.jp/posts/169307>
- ・コンサートプロモーターズ協会 (2014) 「ライブ市場データ 基礎調査推移表」
<http://www.acpc.or.jp/marketing/transition/>
- ・Ripy (2015) 「【RIJF】夏フェス ロックインジャパンフェスの歴史」
http://ripy-jm.com/news/pickup902_rockinjapanfestival_history.html
- ・ナタリー (2015) 「ROCK IN JAPAN FESTIVAL の最新ニュース」
http://natalie.mu/music/news/list/artist_id/1309
- ・ロッキング・オン (2001) 「2001 会場マップ(ROCK IN JAPAN FESTIVAL)」
<http://rijfes.jp/03/2001/map.html>
- ・ロッキング・オン (2014) 「2014 会場マップ(ROCK IN JAPAN FESTIVAL)」
<http://rijfes.jp/2014/areamap/>